

～先輩職員Interview～

※掲載者の所属、職名は令和6年度時点のものです。

土木

現在の仕事内容を教えてください。

鳥取市内の市道等の管理、豪雨・大雪時の災害対応に関する業務や市民投稿型通報システム（みつけたぞう）に関する業務に携わっています。主な業務内容として、道路及び付属施設（ガードレールやカーブミラーなど）の破損に関する修繕業務、災害により被災した道路施設復旧工事の発注・監督業務や通報システムに投稿された道路施設の破損に対する対応などを行っています。

鳥取市職員を志望した理由は？

生まれ育った鳥取のために貢献できる仕事がしたいという思いがありました。国や県という選択肢もありましたが、住民の方とより身近に仕事がしたいと考え、鳥取市役所を志望しました。

現在の仕事のやりがいや魅力は？

道路の維持管理は陥没や舗装修繕だけではなく、ガードレール等の道路付属物や路面標示（センターライン、外側線や『減速』等の注意喚起を促す文字）の復旧など多岐にわたります。これらの業務を通して入庁前には知らなかった道路行政の奥深さを知り、業務へのやりがいを感じています。

また、令和5年度の災害復旧業務では被災後の現場確認を行い、国への報告・説明を行った後、復旧工事に着手しました。周囲の同僚や上司と協力して行い、工事が完成した後はとても達成感を感じることができました。

道路はわたしたちの生活にとっても身近なインフラであり、日々の問い合わせはとても多く大変な業務だと感じることはありますが、地元の方からの感謝の声を聞くとやりがいを感じ、地元の方と密接に関わることでできる市役所を選んでよかったと思います。

鳥取市職員をめざす方へメッセージをお願いします。

土木技師の業務は住民の方への対応はもちろん専門的な業務があるため、最初は戸惑うことも多いかもしれません。ただ、そんなときは職場の先輩方が助けてくれますし、住民の方との距離が近くとてもやりがいを感じることができる魅力的な仕事です。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



道路課

榎本 一輝 技師
(平成30年度採用)



～子育て支援制度利用者の声～

※掲載者の所属、職名は令和6年度時点のものです。

育児休業、育児部分休業、子の看護休暇を利用しました

私は1年間育児休業を取得しました。常にそばにいたことができたので初めての寝返りや、歩く瞬間などにも立ち会うことができました。この時期の子どもの成長はとても目まぐるしく、長く一緒にいられたこの時間はとても貴重だったと感じています。私の場合は、この時期に夫が単身赴任で不在にしていたため、自分が目を離した隙に子どもに何かあってはいけない、と気が抜けない時間も多かったですが、日中自由に家事や用事の時間を調整できたので、子どもが昼寝をするタイミングで自分も少し休んだりするなど、柔軟に対応して過ごせました。

復職後は、育児部分休業制度を1時間利用して早く帰っています。保育園のお迎えに時間がかかったり、夕飯の際に子どもの機嫌が悪く思うように準備が進まなかったりする日も多いので、とても助かっています。他にも、子どもが体調を崩した時は看護休暇を取得するなど、様々な制度に支えられています。また、職場の方々には、妊娠中から多くのサポートやご配慮をいただいております。本当に感謝しています。



出納室

吉田 祐妃 主事
(平成25年度採用)

